

町ではボランティア活動していただけの方を募集し、約60名の方に、施設の美化活動、受付案内などを行っていただきました。



▲ 3日間で町内すべての小・中学生が応援にかけつけてくれました。

小学生などは、大会前に花壇やのぼりに応援メッセージを作成し、大会を盛り上げてくれました。



周防大島観光協会によるみかん鍋が選手らに無料で振る舞われ、『おいしい。』と大変好評でした。 ▶



▲ 県内5つの高校アーチェー部員約70人が、会場設営などに協力してくれました。



ボランティアの皆さんをはじめたくさんの方々に
大会運営にご協力いただき、ありがとうございます

山口国体アーチェリー競技会を開催するにあたり、ボランティアの方をはじめ県内高校のアーチェリー部員の皆さんなど、たくさんの方々にご協力いただき、大会が無事終了することができました。ありがとうございました。



東北選手 一矢、一矢に それぞれの思いを込めて



宮城県は少年女子の大森早和子さん（仙台工業高校3年）が個人で5位に入賞しました。〔写真ちよるる右隣〕

今回の山口国体は東日本大震災をうけ、『たちがれ！東北 がんばろう！日本』を合言葉に、被災地はもとより全国に向けて、勇気と希望、そして元気を送る大会として開催されました。
アーチェリー競技では宮城県（成年男女・少年女子）、岩手県（成年男子）の参加がありました。選手の中には、震災によりご自宅が倒壊された方や、ご家族を失われた方などもおられ、被災されている状況での参加となりました。一矢、一矢に集中して矢を射ち一生懸命プレーする姿に、たくさんの勇気と元気をもらいました。
被災地の一日も早い復興をお祈りします。